

I 郷土芸能伝承支援事業 (特色ある区づくり事業)

北区に伝わる神楽等郷土芸能保存団体の伝承に向けた取り組みを支援するため、また市民に広く北区の郷土芸能を紹介するため、記録映像のデジタル化と配布を行う。

II 開館50周年(2018)記念誌の発行

『開館50周年記念 新潟市北区郷土博物館年報・紀要(2009.4-2019.3)』(仮題)を作成・発行する。

III 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

2 企画展

(1) 常設展拡大企画 「昭和の暮らし展—「着る」にまつわる道具たち」

前年度1月からの継続。約60年前までに使われていた衣類にかかわる民俗資料や写真を展示。

- ・会期 平成31. 1/4(金)～令和元. 5/19(日)
- ・会期中の催し
 - ・手織り体験と葛塚縞手織り機の実演見学
4/6(土)、4/13(土)、4/20(土)、4/27(土)、
5/4(土)、5/18(土) 協力：葛塚縞手織りの会
 - ・展示解説会 講師：曾部珠世 4/27(土)

(2) 所蔵作品展「人間はどこにいる？」

所蔵作品を公開する第2回展。「作品」のなかに「人間」のありようを見つめる。

- ・会期 6/1(土)～7/15(月・祝)
- ・作品鑑賞会 講師：神田直子
6/9(日)、6/30(日)、7/14(日)

(3) 第22回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催される競書大会。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催する。入賞作品238点を展示。

- ・会期 7/27(土)～8/25(日)
- ・対象 新潟市内の小学3年～中学生
- ・作品募集締め切り 7/4日(木)

(4) 第13回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示。

- ・会期 9/21(土)～10/14(月・祝)
- ・対象 北区内の小・中学生
- ・部門 模型、発明工夫、標本、観察・実験

(5) アートと道具のはざま展(仮題)

美術作品と民具を展示し、アートと道具の特性と2つの「はざま」について考える。

- ・会期 11/16(土)～12/15(日)

(6) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展4」

今では使われなくなった道具から北区の昔の様子を紹介する企画の第4回展。体験コーナーを設置予定。

- ・会期 令和2. 1/4(土)～5/17(日)

IV 普及事業(講座・教室、レファレンス等)

1 はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。

- ・期間 7月～8月頃

2 第29回 博物館まつり

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーなどを通して伝統文化を学ぶ。

- ・開催日 11/3(日)～11/4(月・休)

3 ふるさと学習

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

4 レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の見学
- ・博物館や大学など研究機関への協力

5 刊行物の販売

V 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)活動

市民ガイドのスキルアップ研修、情報の共有、来館者対応の調整等。

VI 他機関・他施設への事業および調査研究協力

1 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ

- ・実習期間 8/22(木)～8/30(金)の7日間

2 体験学習等受け入れ

(中学生・高校生の職場体験)

VII 所蔵資料調査研究・保存

1 資料整理作業

歴史資料、美術資料等の整理作業

2 横井の丘ふるさと資料館の管理

3 郷土資料収蔵庫の管理運営

- ・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業(台帳化、配架、くん蒸)

VIII 北区の文化財保護事業(指定文化財ほか)

1 調査

2 公開・活用

- ・郷土芸能発表会
- ・文化財等説明板修理

3 保護育成

- ・郷土芸能記録映像のデジタル化(郷土芸能伝承支援事業・再掲)
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護等

〔平成30年度入館状況〕

・12/28～1/3は年末年始のため休館。横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。

月別	入館者数(人)	主な行事
4月	649	所蔵作品公開「美術のなかの自然展」3/17～6/17
5月	554	平成30年度新潟地震巡回パネル展 5/25～6/12
6月	535	所蔵作品公開「美術のなかの自然展」3/17～6/17(計1,877人※H29年度分と地震巡回パネル展を含む) 平成30年度新潟地震巡回パネル展 5/25～6/12(406人)
7月	790	第35回菱湖会書展 7/13～7/16(313人) 第21回松蔭賞書道展 7/28～8/26 北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り 7/21(23人)
8月	952	第21回松蔭賞書道展 7/28～8/26(1,015人)
9月	1,040	第12回新潟市北区こども科学展 9/22～10/8 北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り 9/24(20人)
10月	698	第12回新潟市北区こども科学展 9/22～10/8(1,096人)
11月	990	第28回博物館まつり 11/2～11/4(延べ394人) 弦巻松蔭一学書と模索の時代展 11/17～12/16
12月	418	弦巻松蔭一学書と模索の時代展 11/17～12/16(652人)
1月	442	昭和の暮らし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
2月	701	昭和の暮らし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
3月	516	昭和の暮らし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
合計	8,265	

■館外事業参加者数 合計876人
 ・「北区伝統芸能文化の祭典」11/25 (延べ600人)
 ・出前授業(北区内小学校) 9/13・1/30・2/6 (276人)

〔寄贈資料紹介〕

平成30年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【美術資料】

大島 真澄様(西区)……………阿部半雅 軸2点
 長谷川義明様(西区)……………高橋清 彫刻「ひと1991-1」
 山田ミチコ様(北区)……………遠藤七郎 軸1点

【歴史資料】

阿部 紀夫様(北区)……………真嶋家関係資料3点
 高橋 浩 様(北区)……………旧葛塚小学校体育館火災写真3点
 公益財団法人新潟県自治研究センター様(中央区)…木崎小作争議関係新聞コピー(大正15年頃)

【民俗資料】

高橋 博隆様(北区)……………懐宝数引節用集(和本)、棟上祭関係祝詞(卷子)
 佐藤トシエ様(北区)……………鯨尺2点
 米田 正作様(北区)……………鯨尺
 早川ミハル様(北区)……………男児の着物1点

【図書】

新発田郷土研究会様(新発田市)…新発田郷土研究会編「新発田郷土誌 第46号」
 里村 洋子様(北区)……………里村洋子著「丹藤商店ものがたり」など2冊
 岡村 鉄琴様(中央区)……………越佐文人研究会編「新潟県文人研究第21号」など2冊
 村山 幹夫様(東区)……………大形ちいき学会編「大形のむかし 歴史編」
 上松 鉄雄様(北区)……………小島勝治著「西郷隆盛、新潟松浜滞陣の謎」など2冊
 高橋 郁丸様(中央区)……………高橋郁丸著「妖怪文化 創刊号」
 高橋 剛 様(北区)……………NPO法人新潟水辺の会編「2016年新潟市里潟学術研究 北区の松浜の池、内沼潟の調査 報告書」
 一般財団法人下越農民会館様(五泉市)…石田宥全著「農民運動の理論と実際」(復刻版)
 関口 忠邦様(北区)……………関口忠邦著「新潟県の天然物方言集『方言名・地方名』から標準和名を検索」など2冊

【映像資料】

大野 真一様(北区)……………DVD「守ろう 伝えよう 高森の大ケヤキ」計5点

【寄贈のお願い】

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

戊辰戦争150年関連イベント

当館は、明治百年を記念して昭和43(1968)年11月に開館しました。平成30(2018)年は、開館50年にあたるとともに、明治150年・戊辰戦争150年にあたります。当館では、これに関連しバス巡りを主催しました。また、新潟戊辰の会作成の小冊子『新潟市の戊辰戦争の史跡を巡る』への寄稿や、市民フォーラムへの協力などを行いました。

北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り

写真上

北越戊辰戦争では、武士だけではなく、草莽(そうもう)の人々も武器を持って戦いました。北区葛塚の庄屋の家に生まれた遠藤七郎昭忠は、新政府軍が太夫浜から松ヶ崎浜にかけての浜辺(現北区)に上陸した時、新発田藩とは別に駆けつけ、長州藩に属し、赤谷(現新発田市)で会津藩との死闘を繰り広げました。その遠藤七郎を中心とした北区の戊辰戦争の足跡をたどるツアーを、当館主催で7/21と9/24に実施しました。

会津・越後・長州3地域連携市民フォーラム

写真下

遠藤七郎は、会津戦争で敗れた山川健次郎(後の東京帝国大学総長)たち会津の少年を自邸に匿いました。その縁から、10/6に北区の豊栄地区公民館を会場に、会津・越後・長州3地域連携市民フォーラム(主催明治150年プロジェクト実行委員会)が開催されました。職員による講演や、関連パネルの作成・展示、テレビ番組撮影などに協力しました。



常設展示案内ガイドブックを頒布しています!



常設展示がリニューアルし、平成28(2016)年11月にグランドオープンしました。新しくなった展示内容を紹介するために「常設展示案内 阿賀北の大地と人々の暮らし」を頒布しています。

本の中では、展示していない収蔵資料についても触れ、常設展示を丁寧に解説・補足し、身近にある北区の歴史、地理、民俗、弦巻松蔭の書の世界についての概要がつかめる内容となっています。

「展示解説をじっくり読みたかった」「家に帰ってからもう少し詳しく調べたかったので便利」などと、好評をいただいています。当館窓口で頒布(1冊1,000円)していますので、ぜひお手に取ってみてください。

東部緑道側の木道橋が新しくなりました!



桜並木が続く東部緑道から、当館に入る木道橋が平成31(2019)年3月に新しくなりました。米松(ベイマツ)の板には、真新しい塗装が施されていますが、薄い塗装ですので木肌が感じられます。きれいな橋で東部緑道との一体感が増しました。

花と緑の季節には、多くの人たちが緑道を通して福島潟まで散策に行かれるようです。緑道散策の折、是非、新しい木道橋を渡って当館にもお立ち寄りください。

